

人の輪・衆智・繁栄



感謝そして希望を活力に
“人と企業を活性化する”

(通巻 648 号)

SKC 船場経済倶楽部 まいどおおきに報

感謝そして希望を活力に!!いざ進もう未来へ

～企業経営者のビジネス・チャンス交流創出の場～

第512回 早朝講演会のお知らせ

7月11日
(金)

日時：令和7年7月11日(金)

受付8時30分 名刺交換8時40分 講演開始9時00分

会場：ガーデンシティクラブ大阪 ハービスOSAKA 6階

講師：北村 豪 氏

株式会社JTB

執行役員 ツーリズム事業本部 西日本エリア広域代表

大阪IR推進担当 大阪・関西万博推進担当

大阪・関西万博（夢洲）の概要と弊社の取り組み および万博見学のための完全攻略法について



2025年4月、大阪・関西万博がついに開幕しました！夢洲の会場では、各国のパビリオンやイベントが連日盛り上がり、多くの来場者で賑わっていることはメディア等でご存知かと思います。交流人口の拡大が予測されるこの万博において、JTBはブロンズパートナーとして公式観光ポータルサイトに協賛し、万博関連の観光地や旅のプランを紹介されています。

全国47都道府県の拠点が地域の「タカラ」を発掘し、磨き上げることで、旅行者と地域、地域同士、そして企業とのつながりを創造されています。さらに瀬戸内国際芸術祭も開催され、西日本エリアへの注目度はさらに高まっている様です。本講演では、万博の最新動向とJTBの取り組みに加え、万博を存分に楽しむための

完全攻略法について、JTB執行役員 北村豪氏にお話を頂きます。

JTBは、IR誘致を表明し万博の中心地である大阪において、大阪を活動拠点とする大阪IR・万博担当役員を配置し、運営体制、対象地域や関係事業者との連携体制を強化されています。2022年2月1日付で、ツーリズム事業本部地域ソリューション事業部内に「IR・万博推進室」を新設され、大阪IR推進担当、大阪・関西万博推進担当役員に大阪駐在の北村氏を任命されました。

担当役員の北村氏だからこそお伺いできるお話を、是非お楽しみください。



申込QRコード



インスタ
QRコード

早朝講演会運営委員会委員長 中西忠道

NPO法人SKC企業振興連盟協議会

ICDO: International Corporate Development Organization

平岡会長コラム 第511回早朝講演会

【日時】 令和7年5月22日（木）8：40～10：00 【会場】 ガーデンシティクラブ大阪

【講師】 大阿闍梨 光永圓道 師

【テーマ】 千日回峰行

船場経済倶楽部の早朝講演会に「千日回峰行」を満行された大阿闍梨光永圓道師が招かれました。この千日回峰行は「死」を経験し再生する行です。

印度では、出家するとは瞑想し、苦行をすることです。

釈尊も壮烈な苦行をされています。

1968年に一人で、地球を一周したことがあります。

アメリカ、西欧、東欧、ソ連、中東、南アジア、東南アジアです。

そのとき、パキスタンの博物館で釈迦の苦行像を見ました。正に骨と皮だけで、あばら骨、頬骨が浮き出た座禅されている釈迦像でした。この像を見ながらここまでののかと身体の震えがとまりませんでした。密教の根本経典の一つである『金剛頂経』には「無動三昧」を行ったとあります。「無動三昧」とは飲まず、食わず、動かずと一切の活動を停止し、さらに呼吸さえも長く止める瞑想で、世俗の常識を超えた観想法です。

同じ修行者仲間から、釈迦は「このままでは死ぬだろう」と言われる修行をされていたのです。この像は後に日本にも招来されています。

この「無動三昧」は日本の天台宗の「千日回峰行」の中で、回峰行者は九日間の「明王堂参籠」中で体験させられます。

釈尊はそんな苦行でも悟りに至らず苦行を止められます。

そしてアシュヴァッタの樹の下で瞑想に入られたのです。

このアシュヴァッタの樹は、この下で釈尊が悟りを開かれたので、後に菩提樹と呼ばれるようになります。インド菩提樹のことです。

瞑想をすると分かりますがなかなか「無」にはなれません。

色々妄想が浮かんでくるからです。仏教ではこの妄想を魔女の誘惑で象徴します。

自我や欲望という魅力的な魔女は修行者を悩まし悩まし続けるのです。

「こんなことをして意味があるのか」とか、潜在意識が表に出てきて「なんであんなことをしたのか」などなどです。

この妄想を釈尊は一切の先入観や伝統的な考えや自分が経験してきたことすらも無視して公平無私な智慧（般若）で克服され、自らの悩みの根本の原因を解明されたのです。

即ち「悟り」を成就されたのです。

日本の天台宗で行われている比叡山を中心に指定された場所で供華して回る「千日回峰行」では、一〇〇日の連続回峰行を十回行います。その七回目の一〇〇日回峰後に「堂入り（明王堂）」をします。そこではこの不動三昧が行われます。

毎日午前二時に不動明王にお供えする水（閼伽水あかみず）を汲むために「参籠」するのです。この間、飲食せず寝ず不臥の九日間の超難行です。

この「堂入り」では、終わりの頃には瞳孔が開いてしまいますので、失明させないために堂内では明るい燈は使えず、ローソクで灯りを取り、行を続けます。これは見方を変えれば死の世界を経験する行とも言えます。そして、「堂入り」の行をおえ、言い換えれば生まれ変わって、残りの二〇〇日を俗世間である京都市内を含めて仕上げの回峰行が行なわれます。しかも最後の一〇〇日は、七五日で終了し、残りの二五日は、以後、終生、俗世間での衆生済度の生き方で実行するのです。

これは釈尊の修業の一部を、1,000日で経験するものです。

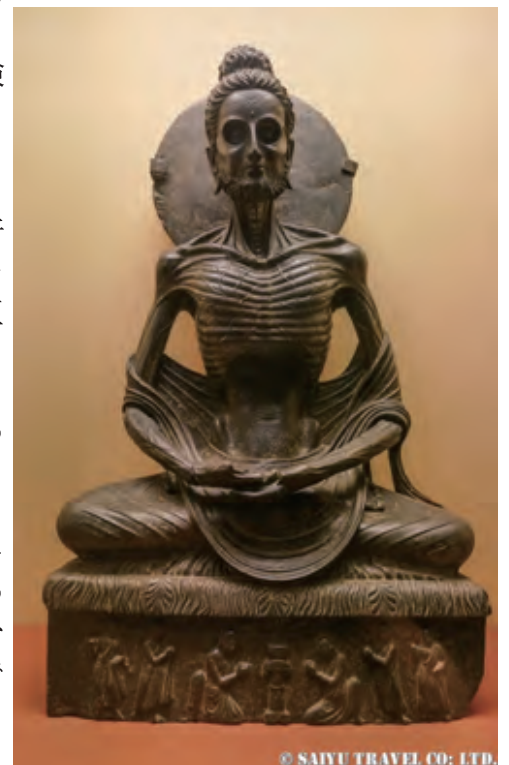


写真 釈尊の瞑想の姿
ラホール博物館の断食する仏陀像
- DISCOVER PAKISTAN

事業開催報告

定時総会のご報告

2025年6月9日(月) 18:00～18:30 ガーデンシティクラブ大阪にて当協議会の定時総会が開催され、以下の議題について審議・報告が行われました。

1. 第1号議案 2024年度活動報告
万博関連事業・外部団体交流・2024年度諸事業活動
2. 第2号議案 2024年度収支決算承認の件、並びに監査報告
3. 第3号議案 2025年度事業計画、及び予算の件
4. 第4号議案 理事選任、第5号議案 一括承認事項

役員の任期中に伴い、役員の報告・「船場経済倶楽部の顧問・役員及びスペシャリスト」登録者、事業を推進する「2025年度の運営組織図」一括承認事項が行われ、満場一致で承認されました。

以上が定時総会の報告となります。本年度も会員の皆様のさらなる発展の一助となる活動を続けてまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、ご要望がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

特定非営利活動法人SKC企業振興連盟協議会 理事長 田中祥宏

第392回月例会

【日時】：令和7年6月9日(月) 18:30～20:30

【場所】：ガーデンシティクラブ大阪(ハービスOSAKA6階)

【講師】：三起商行株式会社(MIKI HOUSE)

代表取締役社長 木村 皓一 氏

【テーマ】：日本のモノづくりで世界に挑戦(ミキハウス55年の歩み)

今回の講演会では、創業者の木村氏が、1971年の創業から現在に至るまでのミキハウスの55年の歩みについて、事業家としての視点から語られました。単なる利益の追求にとどまらず、事業を通じて社会に価値を提供し、顧客や関係者にとって有益な存在となること。そして、長期的な成長を見据えた戦略的な思考を実践されているからこそ、その言葉には深い説得力があり、心に響く内容でした。

特に強調されていたのが『コミュニケーション』の大切さです。木村社長自身もコロナ禍で『コミュニケーション』の大事さを学ばれ、ミキハウスファミリーができあがったとの逸話も披露され、参加者は共感しながらも感心しきりの様子でした。

またミキハウスは、1987年にフランス・パリに直営店をオープンさせたのを皮切りに、現在では16の国と地域で108店舗を展開されています。多国籍の方々が働かれている様子を本当に楽しそうにお話され、社員を大事にされていることがよく分かる一場面でした。また従業員がイキイキと働かれている姿が目につくようでもありました。

木村氏は、「100年ブランド」を目指す企業の求心力として、現在もミキハウスグループを力強く牽引されています。そのバイタリティ溢れる行動力によって、ミキハウスは令和の時代に入ってもなお輝き続けております。

今回の講演会で特に印象的だったのは、参加者の皆様が木村氏に寄せた深い敬意です。木村氏の言葉の一つひとつに真剣に耳を傾け、共感し、学びを深めようとする皆様の真摯な姿勢が、講演の価値をさらに高めるものとなりました。この場を通じて生まれた感動と学びが、今後の歩みにおいて大きな糧となることを願っております。

月例会運営委員会委員長 藤原悠貴



活動方針

シンボルマーク

人の輪・衆智・繁栄

当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造してメンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。



★人と人との輪(数)のつながり…人の輪(数)
★三つ(人)の輪から三人寄れば文殊の知恵…衆智
★人の輪(和)と衆智で⇒お互いを繁栄に導く
誠意(ハート)による交流で⇒
勝利のVサインと…繁栄

第51回 ～ぶらりスケッチ～ 『三厩板櫓(みんなやひょうろう) 漁港』

青森スケッチ旅行の3枚目です。京都府伊根町の船屋を連想します。竜飛岬からバスで10分位下ったところに、スケッチポイントがあります。漁港が格納されている壊れかけたユニークなスタイルの船小屋は絵心を誘います。入江に集中して立ち並ぶ光景はどこか東南アジアの水上集落かと思わせるようなたたずまいです。知られざる奥津軽の風景です。描いている最中に雨が降ってきました。現地で描くのが自分流なのですが、今回は帰ってから仕上げました。



近藤嘉夫

事務局からのお願い

会員様に従来より郵送にてお届けしている会報誌ですが、SDGsの観点より、6月号を持ちまして郵送でのお届けは終了となります。引き続き、郵送をご希望される場合、別途2,000円を頂戴することとなります。是非この機会にメールの配信に切り替えて頂ければ幸いです。

ご登録は右記の
QRコードより
お願い致します。



船場経済倶楽部 事務局

SKC相談室

未来モノづくり国際EXPO2025 【来場のご案内】

大阪・関西万博と連携した国際見本市が、本年も開催されます。船場経済倶楽部は実行委員会のメンバーに入っており、開催に向けて準備をしております。本展は、産業を支える優れた製品・技術を一堂に集めて国内外に発信するとともに、展示やフォーラムなどを通じて、商談と交流の場を促進していきます。産業の課題を解決し、明るい未来社会をデザインする製品や先端技術が出展しています。2025年は大阪・関西万博の開催期間にあわせ、7月に開催し、国内外から多くの出展者と来場者の参加を予定しております。ご興味のある会員企業様は、無料招待状をお渡しいたしますので、事務局までお問合せ下さい。お問合せ：SKC経営相談室



(538号)
人の輪・衆智・繁栄



「感謝そして希望を活力に」を創出し、人と企業を活性化する
International Corporate Development Organization

(通巻648号)

特定非営利活動法人 **SKC 企業振興連盟協議会**

会長 平岡龍人・理事長 田中祥宏・専務理事 前田裕康

ご入会や事業参加のお問合せはこちら

⇒ **SKC 船場経済倶楽部**

事務局：〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1-4 411 TEL 06(6261)8000 FAX 06(6261)6539

URL <http://www.skcn.jp>

E-mail senba@skcn.jp

【冠頭の名称について】昔から「商い(経済)」を通じて人々が集り交流する場「商い発祥の地」「船場」は当団体が1980年「SKC 船場経済倶楽部」としてスタートした発足地です。